

## 第30回農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：種清 豊氏（日本写真家協会）

（撮影者：敬称略）

### ★ 千葉県知事賞

#### 「補植」



（撮影場所：いすみ市 撮影者：松村 哲夫）

決して作品そのものに派手さや奇をてらったインパクトがあるわけではありません。しかし、落ちつきのあるシンプルな画面の中に、丁寧に淡々と作業する農家の方の姿が適切に写しこまれています。人物を大きく写すことなく、また水田は広すぎず。背景の画面処理も的確であることから生まれた優秀な農村スナップと言えるでしょう。

### ★ 千葉県土地改良事業団体連合会長賞

#### 「こだわりの天日干し」



（撮影場所：東庄町小南 撮影者：渡邊 良一）

季節が10月ということで、この田んぼ特有の刈り取り時期があるのかもしれませんが、ちょうど稲をかけている瞬間をとらえています。農家の方の動きをうまく伝えるシャッターチャンスでした。画面均一に当たるライティングもよく、すがすがしい秋の風景として見ごたえある1枚に仕上がりました。

## ★ 特別賞

### 【千葉県農村振興技術連盟賞】

#### 「雨あがりの棚田」



撮影場所：鴨川市大山千枚田

撮影者：山口 正明

次の田植えを待つ冬の間寝かせている水田の様子。ひっそりと山間部に佇む姿を垣間見ることができます。背景の山並みに漂う雲の様子など、静かな農村風景を情緒的に感じさせるワンシーンを上手に写し止めています。

### 【千葉県多面的機能推進協議会賞】

#### 「初秋の芸術」



撮影場所：柏市高柳

撮影者：清水 文明

綺麗なカーブを描いた造形美がこの写真の一番の見せ場ですね。この一言に尽きます。背景のバランスも良く、見せ場を的確にとらえたフレーミング。画面下をもう少し広く取り込んでパースを演出した写真も面白いと思いますが、まずはこの光景に出会えたことに感謝ですね。

### 【ちば水土里支援パートナー賞】

#### 「落花ポッチ作り」



撮影場所：八街市八街

撮影者：下谷 一成

畑を見るといくつものポッチがすでに作られていますね。ご夫婦なのか、黙々と一生懸命作業されている様子なのでしょう。地面の土色がどうしても目立ちそうな写真なのですが、ポッチに積まれたブルーシート、遠景の畑や木々、空の色が入ることで画面が殺風景にならなかった点がGoodです。

## ★ 金賞

「冬の朝日」



撮影場所：白井市根

撮影者：小野 喜作

少し寂しさも漂いつつ、真冬の静寂に包まれた明け方の印象的なシーンをうまくまとめた一枚ですね。やや空を広めに入れることで、赤く染まる部分と闇が残る部分とのグラデーションを感じることができま  
す。タンクに反射するオレンジ色もポイントですね。

## ★ 銀賞

「初めてのトラクター」



撮影場所：千葉市緑区小山町

撮影者：佐藤 琢耶

なにより、画面手前のビニールの覆いがアクセントになりフレーミングが上手です。スマホならではの縦位置広角の画角では、余計なものがいろいろと入り込みそうですが、的確に主題を伝えることができてい  
る銀賞にふさわしい一枚となりました。

「花いっぱい水路」



撮影場所：匝瑳市

撮影者：川口 喜夫

まずは画面右側に見える小さな水路の水面の映り込みの美しさが際立ちます。画面を下に向けて空を入れずに、画面に一面ピンクの花をいっぱい写しこんだフレーミングが功を奏しました。小さな空間ですが、遠景を少し入れることで、奥行きも感じることができる写真です。

## ★ 銅賞

### 「柏、あけぼの山農業公園②」



撮影場所：柏市

撮影者：中西 通博

満開のコスモス畑に突如現れたどこでもドア。どこでもドアそのものが次元を超えて別世界へと連れて行ってくれるツールなのですが…。目の前に見える世界はやはり現実世界。異国の趣ある風車を入れたシュールな世界観がひろがります。

### 「里の春」



撮影場所：四街道市亀崎

撮影者：小林 紀胤

満開までには少しはやいものの、農家はいつも通り田植えの準備に取り掛かる、毎年見ることがができる里の風景ですね。桜で画面を囲むように見せたフレーミング、画面下部に配置された農耕機を一つの画面に上手く構成した写真です。

### 「流れ行く田園」



撮影場所：小湊鐵道 光風台～馬立駅間(市原市)

撮影者：竹中 遼

刻一刻と変化する車窓からの眺めを切り撮った一枚。スピード感というよりはゆったり流れる時間を感じる一枚です。オレンジの塗色がわずかに差し色となり、車内と車外の境界線としてうまく画面を構成しています。直線に伸びるガードレールの様子もいいアクセントです。

## ★ 佳作

「豊作を祈る」



撮影場所：印西市山田

撮影者：田村 雅彦

収穫を待つばかりの良く育った稲の姿がよく伝わる作品です。水田地帯に静かにたたずむ祠がいいアクセントで、一つの見せ場ですね。大きく発達した夏雲のコントラストも写真にとてもマッチしています。広がりのある風景はさわやかな印象も与えてくれます。

「手間ひまかけて」



撮影場所：大網白里市

撮影者：関本 吉邦

太陽とシルエットを狙った作品で、ドラマチックなライティングで狙い通りに撮影できているのではないのでしょうか。しかし、タイトルと写真との印象が少し離れているのでは。夕景であれば、一日の終わりを感ぜさせるようなタイトルがわかりやすかったです。

「こだわりのお米」



撮影場所：君津市豊英

撮影者：黒須 雪美

撮影の角度がいいですね。稲が植わる田んぼが対角線、ひし形に見えるアプローチが面白いです。水田の面積にもよるのでしょうかけれど、機械化と手作業が未だ織り交ざる、農村の一コマがうまく収められています。

「田植え間近」



撮影場所：いすみ市

撮影者：松村 哲夫

有名な撮影ポイントなのか、そう思わせるほど出来上がった景色です。桜と水田のタイミングが見事にマッチングしていますね。しかし、桜を広く見せるために画面を広く狙ったことで、主役の印象が弱くなった点が惜しいですね。

★ 佳作

「秋の名残り」



撮影場所：いすみ市

撮影者：井上 すみ子

晩秋を感じさせる「色」でみせてくれた写真ですね。奥行きはあるのですが、少し画面が窮屈です。もう少しワイドで画面に広がりを持たせた撮影でも良かったのではと感じます。

「お魚さんとの知恵比べ」



撮影場所：印西市北印旛沼

撮影者：鈴木 康雄

遠景の筑波山を見据えたフレーミングで画面に安定感がありますね。漁師さんの動きも垣間見えている点はいいシャッターチャンスでした。少し空の部分が広く感じられるので、もう少し湖面や手前の水草の配置を意識した撮影も面白かったですよ。

「9月の柿」



撮影場所：睦沢町

撮影者：武田 美桜

土手の斜面の高低差を生かした撮影位置の工夫がおもしろいですね。スマホ特有の広角レンズの遠近感で遠くが小さく写り、柿の実りが少なく見えてしまった点が惜しかったです。もう少し画面上にスマホを向けて広めに撮影するとよかったです。

「休憩中の農道」



撮影場所：市原市

撮影者：阿野 匠真

上下左右のバランスを意識して丁寧に撮影した写真です。農道の奥行き感を演出するため、手前をボカし中心部へと導くピントがいいですね。少しアンバランスに立つ標識もいいアクセントになっています。少しカメラ位置を低くして、手前の農道を広めに見せるとより奥行き感が出たでしょう。